



「交通安全県ちば」の実現を目指して

公益財団法人 千葉県交通安全協会

会 長 安 藤 轟 勇

明けましておめでとうございます。

平成 30 年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

皆様方には、平素から地域における交通安全活動に深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

千葉県交通安全協会は、交通安全活動を行う県内唯一の公益財団法人として種々の活動を展開し、交通事故の根絶を目指してまいりましたが、公益財団法人として発足以来、5 年を経過した現在、法人運営も順調に推移しております。改めて御礼申し上げます。

この間、県協会の主要な活動として県下 44 地区の交通安全協会と連携して県警察が主導する「3・ライト運動」や「ゼブラ・ストッパ活動」に積極的に参画するとともに、こどもや高齢者に対する自転車交通安全教室の開催や通学時間帯及び薄暮時の街頭活動を強化してまいりました。

また、昨年 4 月には県から「千葉県自転車交通安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されたことから、特に、高齢者の自転車に係る交通事故防止に注力し、県内各市町村の御協力をいただきながら、県内各地において高齢

者が参加する行事等において交通安全教室を積極的に開催して自転車に係る交通ルールの周知及び自転車乗車中のヘルメット着用推進に努めたところであります。県下の交通事故の現況として、高齢者の交通事故死者数は、昨年と比較して歩行中はもとより自転車乗車中全ての形態において減少いたしました。

県、警察を始め関係機関の取り組みの効果が徐々に実を結びつつあることから、「第 10 次千葉県交通安全計画」で目標としている、平成 32 年末までに年間交通事故死者 150 人以下の達成に向けて、交通安全協会としての活動の方向性が一層明確になったと考えております。

県協会として、今後も県、警察をはじめとする関係機関の御指導を仰ぎながら、地区協会と連携しての交通事故防止の広報啓発活動を推進するとともに、より一層子どもと高齢者を交通事故から守る活動に傾注し、「交通安全県ちば」の実現を目指していく所存であります。

つきましては、皆様方には本年も交通安全協会の活動に対しまして、御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健勝と御多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



「交通安全県ちば」の確立を目指して

千葉県知事 森田 健作

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから交通事故防止に向け、地域に密着した各種の交通安全活動に御尽力いただいていますことに、厚く御礼申し上げます。

皆様方をはじめとする関係各位の活動により、昨年は交通事故による死者数を一昨年より減少させることができました。

しかしながら、千葉県では依然として毎年多くの方が交通事故によって、その尊い命を奪われており、高齢者が事故当事者となる割合が高いほか、自転車利用者のルールやマナーを守らない運転が社会的にも問題となっています。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、県内で8競技が行われます。本県を訪れる多くの方を温かく迎えるためには、県民一人ひとりが交通ルールを遵守し、県全体で「安全・安心」を推進していくことが必要です。

県では、「第10次千葉県交通安全計画」に基づき、四季の交通安全運動をはじめ、高齢者の交通事故防止対策、自転車安全利用に関する広報・啓発活動及び幼児から高齢者に至るまでの各段階に応じた実践的な交通安全教育など、各交通安全事業を積極的に推進しているところです。

特に、昨年4月には、歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、県民

が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目的として「千葉県自転車安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました。県では、条例の施行を契機に、県民の皆さんに自転車のルールを分かりやすく伝えるため、条例のポイントを踏まえた本県独自の安全利用ルール「ちばサイクルルール」を制定し、様々な機会を通じて周知に努めております。また、交通安全対策に重要な役割を担う貴協会におかれましても、「ちばサイクルルール」をはじめとした自転車の安全利用を促進するために、更なる取組の強化をお願いいたします。

交通事故を根絶するためには、日々、交通安全活動に御尽力いただいている関係機関・団体の皆様のお力添えが不可欠です。皆様におかれましても、悲惨な交通事故をなくすという強い信念のもと、幼児、児童、生徒等に対する交通安全教育や交通安全に関する広報・啓発活動、街頭指導活動など、地域に密着した交通安全活動を展開し、「交通安全県ちば」の実現に向けて、なお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



「県民を交通事故から守るために」

千葉県警察本部長 永井 達也

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会の皆様におかれましては、御家族共々輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から千葉県内及び地域の交通安全活動の推進に多大な御尽力をいただくとともに、警察業務の各般にわたり、深い御理解と御協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

平成29年中の県下における交通事故情勢につきましては、交通人身事故発生件数及び負傷者数は前年と比べてほぼ横ばいでありましたが、死者数は大きく減少しました。特に、高齢死者が減少し、高齢者を重点とした事故防止対策の継続的な取組の重要性について再認識しているところであります。

交通事故全体の特徴としては、子供の事故や自転車関係事故が減少している一方で、高齢者の関係する事故については、全人身事故に占める割合が上昇傾向にあります。特に、高齢運転者の事故について上昇傾向にあるほか、高齢者が横断歩道のない道路を横断している中で事故に遭うケースも後を絶ちません。また、事故の原因として、加害者側の前方不注意や安全不確認によるものが7割以上を占めている一方で、被害者側の周囲に対する安全配慮不足が一因となる事故も少なくないこと

から、それぞれの交通安全意識の高揚を図り、譲り合う気持ちを持った通行を心掛けることが大切です。現在推進している「第10次千葉県交通安全計画」においては、平成32年までに年間の交通事故死者数を150人以下、死傷者数を18,000人以下にする」ことが目標とされているところです。県警としましては、悲惨な交通事故を1件でも抑止するため、3（サン）・ライト運動の積極的な実践を取り組むほか、悪質・危険な運転に対する取締りや、通行環境の整備を図ってまいります。交通安全は、県民全ての願いであり、交通事故のない安全で安心な千葉県を実現するためには、皆様の御理解と御協力が不可欠です。

交通安全教育や街頭指導、各種広報活動など、あらゆる活動を通じて交通安全の基本精神を再認識させるなど、交通事故から県民を守っていくための取組を、よろしくお願いいたします。

結びに、千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会の皆様の益々の御発展と、皆様方の御健勝を心から御祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



平成30年使用交通安全全年間スローガン

◆運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

ぶつかるよ ながら運転 じこのもと

内閣府特命担当大臣賞

一杯で 消える未来と 消せぬ罪

警察庁長官賞

ハイビーム 上手に使う 事故防止

◆歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

行けるはず まだ渡れるは もう危険

内閣府特命担当大臣賞

危ないよ スマホじゃなくて 周り見て

警察庁長官賞

反射材 自分をアピール 防ぐ事故

◆中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

内閣総理大臣賞

自転車は 車といっしょ 左側

内閣府特命担当大臣賞

よくみせて ちいさなきみの おおきなて

警察庁長官賞

良いお手本 になれる自分が カッコイイ

文部科学大臣賞

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会の交通ボランティア活動に活用されています。

交通安全ポスターデザイン募集

応募要領

- 作品には当該部門の平成30年使用内閣総理大臣賞受賞スローガンを必ず原文のまま使うこと。
- 信号機、標識、標示などは正しく描く。
- 車内の人物はシートベルトまたはチャイルドシートを着用。
- 自転車は安全な利用方法で表現。
- 一般部門（運転者向け、歩行者・自転車利用者向け）はどなたでも応募可。こども部門は小・中学生以下に限る。
- 一般部門の作品サイズはB2判タテ型。こども部門は四ツ切り画用紙かB3判でタテヨコ自由。

応募方法 部門、住所、氏名、生年月日、職業、電話番号を明記（小・中学生は学校名、所在地、電話番号、学年を併記）した応募票を作品の裏面に貼付の上

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

毎日新聞社事業本部

「交通安全ポスター」係へ送付
(電話03-3212-0190)

締切日 平成30年1月31日消印有効

各地の交通安全活動ニュース



習志野 交通事故多発箇所における共同現地診断を実施した。



千葉南 ミスターマックス店前においてゼブラ・ストップ活動広報活動を行った。



千葉東 クリーンロードしよいか〜ごにおいて飲酒運転根絶の協力を訴えた。



佐倉 白井小学校において自転車交通安全教室を開催した。



浦安 ホテルエミオン交差点において自転車利用者に啓発品を配布しながら自転車の安全利用を呼び掛けた。



鎌ケ谷 新鎌ヶ谷駅構内および連絡通路、ロータリー付近において放置自転車防止を呼び掛けた。

チーバくんストラップ2種類

「身につけよう 命のお守り 反射材」

と印字した台紙付き



千葉県内の交通事故死亡事故の約6割近くが夜間に発生しています。

夜間事故の増加が懸念され、厳寒期に入りましたが、街頭啓発活動などでチーバくん反射ストラップを配布して交通事故防止を推進します。

千葉県交通安全協会では、夜間の交通事故防止を図るため、チーバくん反射ストラップ2種類を作成しました。

推進しよう

夜間の交通事故防止を推進しよう

反射材を活用して

チーバくん反射ストラップを作成しました

○バッテリーやタイヤは早めの点検をしましょう。

○積雪や路面凍結時は、スタッドレスタイヤやタイヤチェーンを着装しましょう。

車両点検整備のポイント

○橋の上やカーブの日陰部分などは、路面が凍結しやすいので、安全速度はもちろん、急ブレーキ急ハンドルには特に注意しましょう。

○トンネルの出入り口付近は、道路環境が大きく変化していることがあります。

冬道の危険箇所と安全走行のポイント

冬は気象状態の変化が交通に及ぼす影響も大きく、思わぬ渋滞や事故等に遭遇しても慌てない備えをしておきましょう。



賛助会員入会のお願い

公益財団法人千葉県交通安全協会は「交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県」をつくるために各種の交通安全事業を行っています。当協会の活動にご賛同いただける個人又は団体に、賛助会員としての入会をお願いしています。詳しいことは右までお問い合わせください。

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番

千葉県警察本部交通部運転免許本部内

電話 043-271-8481

交通ルールを守って
つながる笑顔

